宮崎県物産貿易振興センターNEWS

Miyazaki Prefecture Products Trade Promotion Center News Paper

Vol.33

第24回 ひむか「日向自慢みやざき展（高島屋東京店）」開催

今年で24回目を迎えた『日向自慢みやざき展』が高島屋東京店にて、去る8月31日(水)～9月5日(月)までの6日間開催されました。

本物産展は、首都圏で唯一開催される本県の単県催事であり、長年、特産品の取引促進や観光誘客に寄与し、今回で24回を数える歴史ある重要な取組です。

今回は、口蹄疫や鳥インフルエンザ、新燃岳の降灰等により被害の続いた宮崎への多くの支援に対する感謝の気持ちを込めて『宮崎からありがとう。そして、元気をお届けします』をテーマに取り組みました。

出展企業は、食品40社、酒類28社、工芸17社の合計85社となりました。

中でも今回は、口蹄疫被災地の東児湯五町（高鍋町・川南町・新富町・都農町・木城町）の商工会議所・商工会が即売を行い、口蹄疫終息から一年を迎えられたことへの感謝を込めて、管内の特産品を感謝価格で販売しました。

会期初日には、貴乃花部屋女将の花田景子さんが応援に駆けつけ、オープニングイベント、フリートークなどで会場を沸かせていただき、また、県議会の渡辺議員、内村議員、西村議員も会場を訪れ、振る舞いや観光ＰＲの応援をいただきました。

東日本大震災以降の消費控えの影響などに加え、台風12号に伴う天候不順で客足が鈍り、売上は目標額7，200万円に対して6，528万円（達成率91％）となりました。

本物産展は、県産品の販路拡大等を進めていく上で重要な取り組みであると考えておりますので、当センターとしては、より充実した魅力ある物産展が開催できるよう、取り組んでいきたいと考えております。企業の皆様のご理解と物産展への積極的なご参加をお願いします。

（営業課　鬼束）

▶花田景子さんのスピーチ

▶県議会議員による振る舞い

▶会場の様子

▶会場の様子

「香港フードエキスポ2011」出展報告

去る8月11日（木）～13日（土）に香港で開催された国際食品見本市「香港フード・エキスポ2011」に宮崎県ブースを出展しました。

主催の香港貿易発展局の発表によりますと、出展者数は888／19ヶ国・地域で、バイヤー来場者数は12，854人でした。本見本市は香港バイヤーだけでなく、世界各国のバイヤーと商談機会を得られる場ともなっています。

▶宮崎県ブース

本県ブースは3回目の出展であり、今回は、酢、調味料、漬物、芋加工品、青果物、乳製品、焼酎などの食品・飲料メーカー12社が出展しました。

出展者の中には、2年連続で出展し、本見本市をきっかけに香港バイヤーと取引が始まった企業もあります。

また、出展者間で海外バイヤーの情報交換を行ったり、企業間の協力関係を築くきっかけともなった見本市出展となったのではないでしょうか。当センターとしても、出展企業のアフターフォローに努めていきます。

（企画課　立山）

▼ブース内の様子

新宿みやざき館　KONNE通信

新宿みやざき館KONNEの上半期の売上は１５，３８４万円（前年比７４．５％）、来店客数が１４８，７００人（前年比７５．８％）に留まりました。主な要因は、昨年の口蹄疫特需が無かったこと、８月の天候不順により来店客が減少したこと、更に消費者の目が、まだまだ東日本に向いている事などが挙げられます。

商品別では、節電需要から冷や汁が好調に推移した他、原発の影響から新米や野菜の販売が好調でした。また、軽食コーナーで販売したゆずのジュースや、地鶏の炭火焼き等に添えたへべすが、食品コーナーでの販売も好調だったことから、今後も有効な手段として活用していきたいと考えています。

さて、ＫＯＮＮＥは９月１日に店内を大幅にリニューアルしました。来店されたお客様からは、すっきりと見やすくなった、店内が広く感じる等概ね好評です。また同時にメンバーのレベルを上げようと「宮崎プロへの道」研修や「スキルの棚卸し」を実施します。皆様の商品がお客様に正しく伝わり、ファンになっていただける様に、全館を挙げて取り組んでいきます。

インターンシップを終えて　この夏、センターで就業体験された皆さんです～

宮崎産業経営大学　坂元 佑里恵さん

先日は、インターンシップでのご指導ありがとうございました。

期間中は物産展準備で繁忙時期にも関わらず、センターの皆さんが懇切丁寧な対応をしてくださったので、時間の経過がすごく早く感じました。

実習中につきましては、間近に企業の形態・在り方について普段の学校生活では到底知りえることが出来ない社会の礎を知ることができました。

特に会員企業を訪問させていただいた事がとても印象的で、説明だけでは聞き流してしまう事でも実際に生産者の熱意に触れることでモノの価値の真意がどこにあるのかを考えさせられました。

また、宮崎に残り生産者と消費者を繋ぐセンターでの体験が活かせる職種につければと考えています。

ご指導ありがとうございました。

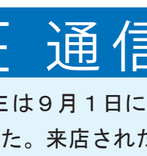
宮崎産業経営大学　大久保 郁さん

この度は、インターンシップを受け入れていただきありがとうございました。

実習の５日間は本当にあっという間で、実習初日に家を出る寸前何を思ったのか指の爪を切り始めてしまい急いで出勤し汗だくになったことがずいぶん前のことに思えます。

職場では皆さんがいつも温かく迎えてくださったので、いい緊張感を持って実習をすることができました。それに会員企業への訪問という貴重な体験もとても勉強になりました。今回の実習での経験を大切にしてこれからも精進しようと思います。

５日間本当にお世話になりました！



宮崎国際大学　平木 絵美さん

私が、この５日間のインターンシップを通して最も強く実感したことは、どの企業も表で働く人だけでなく、裏で働く人全員の協力で成り立っているということです。

みやざき物産館は、主に接客業というイメージが強かったのですが、仕事内容を知っていくうちに物流の管理をする方や国内外とのコンタクトをとる方、イベントの裏方準備をする方など、多くの方々の努力で成り立っていることを知りました。

また、マナー研修や県産品の販売、企業訪問など、社会に出ないと出来ない貴重な体験もさせていただきました。

お忙しい中、このような機会を設けていただき、本当に感謝しています。

ありがとうございました。

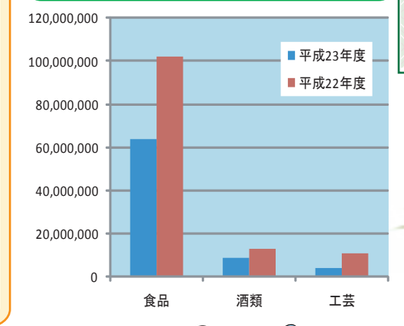
みやざき物産館の八・九月の売上情報

みやざき物産館8月～9月に売上は対前年40％減となりました。

昨年度8月は全国高文祭があり、また、9月は応援支援のための全国大会などがあるなど、多数のお客様に来ていただきましたが、今年度の入館者数は売上と同じく40％減という結果で、みやざき物産館にいかにご来店いただくかが課題となっております。

（営業課　濱田）

みやざき物産館の８・９月の売上比較



TOPICS　みやざきの下マルシェ好評開催

みやざき物産館のリニューアルオープン後、屋外の催事スペースで開催している「み」の下マルシェ。

８月15日と16日には、「超早場米 新米コシヒカリ祭り」を開催。宮崎市近郊で収穫されたばかりの新米コシヒカリの炊きたてのご飯に宮崎特産の漬物やおかず味噌を添えて試食販売を行いました。物産館を訪れたお客様には新米のおいしさを堪能していただきました。

また、８月16日からはゴールデンウィークに引き続き、２回目となる「宮宮はうまい！」宮城県産品支援販売を実施。笹かまぼこやずんだ餅、萩の月などの宮城の特産品をお買い求めいただきました。

続いて８月26日から29日には、口蹄疫終息宣言から１年を迎えたことから「口蹄疫復興支援フェア」を実施。宮崎牛ステーキ、県産黒豚の加工品など、安全安心な本県の畜産品の試食販売を行いました。期間中、河野県知事にも立ち寄っていただき試食をしていただきました。

９月26日から30日には、第51回楠並木KONNE市と同時開催の「み」の下マルシェを開催。宮崎牛や小林市の梨の販売、新富町の物産販売などを行い、楠並木KONNE市を盛り上げました。

（企画課　松吉）

新米の振る舞い

KONNE市での様子

毎度ありがとうございます！　センター職員紹介

観光コーナー
川上真理子

今年４月から、みやざき物産館の観光コーナーで勤務させていただいています。「観光・物産情報ガイド」として、お客様の問い合わせ対応や県庁見学ツアーを担当。店舗が混み合う時は、販売補助に入ります。初めて観光関連業務に携わり、お客様の質問に答える為に調べて学んでいることが多々ある日々。この仕事の奥深さを感じています。知識を増やし、様々な情報を取り込んで、お客様に必要な応答し、加えて自らの提案ができるよう努力していきます。

県内外の皆さまに宮崎の良さを伝えられるよう、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（同僚からのコメント）

一緒にお仕事をさせていただくようになって、半年あまり。物静かで、何事にも落ち着いて対処できる頼もしい後輩です。しかし、内なるものは情熱の塊。帰宅途中やお休みの日でも、目線が情報収集にいっているようです。

これからも、その情熱でお客様の気持ちを”宮崎”に引きつけてくださいね。

（観光コーナー　高尾）

上海事務所
副所長中原猛

宮崎銀行からの出向で、今年４月より上海事務所に御世話になっております。中国での業務・生活では戸惑う事も多い日々ですが、銀行員としての目線を生かし、少しでも会員の皆様のお役に立てればと考えています。放射能問題の影響から、対中国ビジネスにおいては依然厳しい環境が続きますが、皆で前向きに頑張って行きましょう！

私も御荷物にならないように頑張ります･･･。

（上司からのコメント）

宮崎銀行から上海事務所への初の出向者として、日々熱心に業務に取り組んでいただいております。業務上では、銀行で培った豊富な知識で助けていただくこともしばしばです。今後ともよろしくお願いします。

（上海事務所長　佐々木）

会員の皆様からのコラム・ご意見等を募集しています！

会員の皆様からの物産貿易振興センターに対するご意見や、商品開発、貿易等にまつわるエピソードなどをお待ちしております。体裁は自由です。FAX、郵便またはメールでどうぞ。

発行　社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
〒880－0804　宮崎市宮田町１番６号　県庁８号館
TEL：0985－22－7389　FAX：0985－22－7497
URL：http://www.m-tokusan.or.jp/
E-Mail：info-00@m-tokusan.or.jp

第51回　楠並木KONNE市

第51回楠並木ＫＯＮＮＥ市を去る９月27日～30日の４日間開催しました。期間中は天候も良く、連日多くのお客様で賑わいました。

今回は、会社帰りの方々にもご利用いただけるようにと営業時間を10時30分から18時までと変更し、お客様に好評でした。

今後とも、新しい取り組みにチャレンジし、県内の販路拡大に努めていきたいと思います。

（営業課　濱田）

食品衛生研修会

９月19日（金）食品衛生研修会を開催し、42企業69名のご参加いただきました。

第一部は（株）消費経済研究所　福地先生が「食品表示の適正について」、第二部は、宮崎県中央保健所永山様が「食中毒予防と衛生管理について」講演をしていただきました。どちらもたいへん参考になる講演でした。

近年の消費者の表示に対する関心の高まりとともに、適切な表示が必須条件となってきます。今後もよりよい宮崎県産品を製造・販売していく中で是非生かしていただくようお願いいたします。

最後となりましたが、台風の影響もあり大雨で足下の悪い中、多数ご参加いただきありがとうございました。

（営業課　西山）

地域会議を開催しました

県内８カ所で地域会議を開催しました。これまで２年に１回のペースで実施しておりましたが、昨年度は口蹄疫の影響で実施できなかったため、３年ぶりの開催となりました。

宮崎、日南、都城、小林、高鍋、日向、延岡、高千穂の８カ所に各地域の会員様にお集まりいただき、センターの事業や運営の説明、意見交換、商品情報交換などを行いました。意見交換では、センター事務局に対するご意見やご提言をたくさんいただきました。いただいたご意見等は、今後のセンターの運営に活かしていきたいと考えております。

業務のご都合等で残念ながら出席いただけなかった会員もいらっしゃいましたが、地域会議の機会に限らず、センターに対するご意見、ご提言をどしどしいただければ幸いと思っております。

（企画課　松吉）

▶商品情報交換の様子